

戦略分野・展開施策	◎成果指標・KPI指標	当初値	H31年度 目標値	H30年度 期待値	H30年度 実績値	総合評価 (H30年度)	取り組み	具体的な事業	主な取組状況と評価	今後の取組の方向性
戦略分野① 『結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境を創る』	◎合計特殊出生率	1.46	1.60	1.57	1.52	B+	-	-	-	-
	◎自然動態(出生数-死亡数)	251人	157人	176人	213人	A	-	-	-	-
展開施策① 「まち」で子育てを支える基盤を創る	安心して子育てができるまちだ と思う子育て世帯の割合	84%	85%	85%	83%	B+	公園等の再整備	噴水施設改修計画 稲戸井調節池利活用事業	<b>【主な取組状況】</b> ■ 目標達成に向け、市内の既存公園について、遊具等の充実・改善を進めるとともに、子どもが水遊びができるような親水環境を整備した。 ■ 既存の子育て支援センター及び児童センターの充実を図るとともに、「守谷駅前親子ふれあいルーム」の設置など、地域子育て支援拠点の拡充を図った。 ■ 子育て段階に応じ、メール等を利用した子育て支援情報の発信や、子育て中の保護者が気軽に情報交換を行える場としての市公式SNSの開設・市公式アプリの導入など、子育てに関する総合的な情報提供の充実に努めた。  <b>【評価】</b> ■ 上記のような取組の結果、計画期間中の各KPIは、目標に対し順調もしくは概ね順調に推移した。	■ 実績は、順調、概ね順調で推移しているが、未達項目もあることから、各KPIの目標値は総合戦略期間変更後も据え置く方針で検討する。  ■ 全項目の目標達成に向け、子どもが安心して生き生きと活動できる環境づくりや、多様なニーズに応える子育て支援サービスの提供を継続する。
	子育て情報メール登録者数	-	1500人	1000人	1447人	A	地域子育て支援拠点の拡充	守谷駅前親子ふれあいルーム運営管理事業 地域子育て支援センター運営事業 「親と子の集い」「はじめましての会」		
	ファミリーサポートセンター事業 利用会員数	1160人	1350人	1312人	1313人	A	子育て支援情報の発信強化 と保護者交流の支援	子育て支援情報発信事業 市公式SNSアカウントでの情報発信 市民生活総合支援アプリMorinfo		
							多様な保育サービスの提供	一時預かり事業 病児・病後児保育事業 民間保育所等事故防止推進補助事業 ファミリーサポートセンター事業 保育所等業務効率化推進事業 児童クラブ運営事業 放課後子ども教室事業		
展開施策② 子育てと仕事を両立できる環境を創る	認可保育所への入所を希望しているが 入所できず、認証保育制度等による施設 利用もしていない児童数	122人	0人	24人	223人	C	保育サービスの確保	保育所整備事業 保育人材確保事業	<b>【主な取組状況】</b> ■ 目標達成に向け、新たな民間保育所の開所に向けた設立運営事業者の募集及び保育士確保支援を実施した。 ■ 一時預かり保育や延長保育、病後児保育、児童クラブなど、保護者のニーズに適切に対応できるよう、多様な保育サービスの継続的な提供・拡充とサービスの質の向上を進めた。 ■ 職場における男女格差や職場内慣行の是正のための情報提供等を通じ、事業所における男女共同参画に対する理解と取組の促進に努めた。また、市民や事業者等へ育児休業制度の普及・啓発を進める一環として、市役所でも率先した取組を進めた。  <b>【評価】</b> ■ 上記のような取組を行ったものの、認可保育所の運営開始が令和3年4月以降となる保育所もあることから、計画期間中のKPIは、目標に対し未達となっている。	■ 令和3年4月より新たな認可保育所が運営開始となることを踏まえ、各KPIの目標値は総合戦略期間変更後も据え置く方針で検討する。  ■ 目標達成に向け、引き続き保護者が安心して就労できる環境整備や多様な保育サービスの継続的な提供・拡充とサービスの質の向上、家庭の状況（子育ての有無等）や性別によって差別されることのない職場環境づくり、ワーク・ライフ・バランスの理解普及等に努める。
						多様な保育サービスの提供 【再掲】	一時預かり事業 病児・病後児保育事業 民間保育所等事故防止推進補助事業 ファミリーサポートセンター事業 保育所等業務効率化推進事業 児童クラブ運営事業 放課後子ども教室事業			
							男女共同参画やワーク・ライフ・バランスへの理解促進	女性のための社会復帰支援セミナー パートナーシップフォーラム 市役所での取組		
展開施策③ 出産・子育てに対する経済的 不安を解消する	子育てに関する経済的負担軽減 サービスメニュー数	14事業	15事業	15事業	14事業	B+	妊娠・出産に対する支援	妊産婦健康診査事業	<b>【主な取組状況】</b> ■ 目標達成に向け、妊産婦健康診査事業を継続実施した。 ■ 県の医療福祉費支給制度である「マル福制度」や、市独自の「すこやか医療費支給制度」を継続するとともに、特定不妊治療や任意予防接種への助成を継続実施した（一部は助成を拡大） ■ 子ども・子育て支援給付事業を通じて、生活保護世帯や多子世帯を含む子育て世帯へ就園等の支援を実施した（一部は助成対象を拡大）。  <b>【評価】</b> ■ 上記のような取組の結果、計画期間中の各KPIは、目標に対し順調もしくは概ね順調に推移した。	■ 実績は、順調、概ね順調で推移しているが、未達項目もあることから、各KPIの目標値は総合戦略期間変更後も据え置く方針で検討する。  ■ 全項目の目標達成に向け、出産や子育ての段階に応じた支援策の拡充の検討を進めるとともに、必要な支援を必要な時に受けることができるよう、わかりやすい情報発信を継続する。
	妊婦一般健康診査受診票の利用率	79.2%	83.0%	82.2%	82.6%	A	医療費等に対する支援	医療費助成事業 すこやか医療費助成事業 不妊治療費助成事業		
	医療費支給制度の延べ利用件数	157,085件	161,000件	160,217件	168,585件	A		任意予防接種助成事業		
							就園等に対する支援	民間保育所運営費補助事業 /子ども・子育て支援給付事業		
							新たな経済支援のあり方の検討	子ども・子育て支援給付事業 取組なし		

守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総合評価

※総合評価

A：順調（実績値が期待値以上）

B+：概ね順調（実績値が期待値の80～99%）

B：やや遅れ（実績値が期待値の50～79%）

C：遅れ（実績値が期待値の50%未満）

戦略分野・展開施策	◎成果指標・KPI指標	当初値	H31年度 目標値	H30年度 期待値	H30年度 実績値	総合評価 (H30年度)	取り組み	具体的な事業	主な取組状況と評価	今後の取組の方向性
戦略分野② 『“住まう”場としての魅力を高めU・I・Jターンを創る』	◎社会移動（純移動）数	+296	+680	+603	+499	B+	—	—	—	—
展開施策① 「住みたい理想のまち」を創る	「住みよさランキング」総合評価の全国順位	5位	1位	2位	77位	(-) 住みよさランキング評価項目及び基準がH30年に大幅に変更されたため、H30年度は評価しない	公共交通ネットワークの再構築	守谷市地域公共交通網形成計画の策定  公共交通網の再編  公共交通強化による地方移住促進事業	【主な取組状況】 ■ 目標達成に向け、地域公共交通網形成計画を策定するとともに、本市の公共交通ネットワークの再構築を実施した。なお、令和元年度より新たにデマンド乗合交通を開始し、モコバスのルート再編及び1年間の実証実験を行っている。 ■ 大型商業施設が撤退した地区において、新たな店舗を誘致した。 ■ 守谷駅東口の市有地活用については、優先交渉権者と詳細協議を進めており、令和3年度中の利用開始を目指している。 ■ 防犯灯・街路灯におけるLED化による照度の増強、防犯カメラの設置、市民による防犯パトロール活動の実施等により、まちの犯罪抑止力の向上を図った。  【評価】 ■ 上記のような取組の結果、計画期間中の各KPIは、『住みよさランキング』総合評価の全国順位』を除き、順調もしくは概ね順調に推移した。	■ 『住みよさランキング』総合評価の全国順位』は令和元年に算出指標の大幅な変更が実施されたため、KPIに設定することの可否も含め、見直しが必要である。それ以外の項目については、実績値が目標値に達しているが、未達項目もあることから、各KPIの目標値は総合戦略期間変更後も据え置く方針で検討する。  ■ 目標達成に向け、市民誰もが利用しやすい総合的な公共交通ネットワークの形成、守谷駅を核とした都市拠点形成によるまちの利便性の一層の向上、防犯灯や防犯カメラの整備・拡充、防犯パトロール活動などの充実、交通安全対策等による安心な生活環境の創出に努める。
	公共交通に対する市民満足度	49%	55%	54%	48%	B+	買物環境の充実	大型商業施設の撤退地区における新たな店舗誘致		
	市内で便利に買い物ができると思う市民の割合	82%	85%	84%	80%	B+	守谷駅東口市有地の有効活用	守谷駅東口市有地活用事業		
	人口千人当たりの刑法犯認知件数	11.4件	10件	10.3件	7.6件	A	まちの防犯機能の拡充	街路灯整備管理事業  防犯対策事業		
展開施策② 魅力ある付加価値を創る	全国学力・学習状況調査において全国平均を上回っている調査問題数の割合	100%	100%	100%	100%	A	保幼小中高一貫教育『きらめきプロジェクト』の推進 校外での学習（教育）機会の充実	保幼小中高一貫教育『きらめきプロジェクト』  アーカスプロジェクト参画事業  サタデー学習支援教室事業	【主な取組状況】 ■ 目標達成に向け、保幼小中高一貫教育『きらめきプロジェクト』の推進、アーカスプロジェクト参画事業等の校外での学習（教育）機会の充実、小学校及び中学校のICT環境整備を実施した。 ■ 守谷城址・愛宕谷津周辺（野鳥の森）の拡充・活用のため、守谷市観光協会に対して補助、公園等維持管理団体に対して助成を実施した。 ■ 緑地の維持・保全のため、公園等里親事業を継続実施するとともに、保存緑地環境整備工事や緑の保全・緑化の推進に要する費用の一部を助成した。  【評価】 ■ 上記のような取組の結果、計画期間中の各KPIは、目標に対し順調に推移した。	■ 現在の取組の水準を維持するため、各KPIの目標値は総合戦略期間変更後も据え置く方針で検討する。  ■ 目標達成に向け、児童生徒の確かな学力を育む取組の拡充、本市の持つ“地域資源”を活用した特色ある教育の展開を継続するとともに、児童生徒に対する「郷土教育」の充実を図る。
	市内には、緑を生かした美しい景観が十分にあると思う市民の割合	75%	75%	75%	79%	A	ICTを活用した教育環境の充実	小学校及び中学校ICT環境整備事業  ICTを活用した教育環境の充実		
							守谷城址・愛宕谷津周辺（野鳥の森）の拡充・活用	守谷市観光協会補助事業  公園等維持管理団体助成金		
							緑地の維持・保全	公園等里親事業  保存緑地取得事業  保存緑地等助成		
展開施策③ “住まう”きっかけ・地縁を創る	SNS（FaceBook）の発信情報当たり平均閲覧者数	641人/情報	1500人/情報	1328人/情報	926人/情報	B	シティプロモーションの強化	プロモーションビデオ・パンフレット作製  この指とまれ！プロジェクト  市長と藤田騎手の街自慢対談会  ふるさと納税専門誌掲載	【主な取組状況】 ■ 目標達成に向け、本市の強み・長所をまとめたPR映像やパンフレット等の制作をはじめとする、シティプロモーションの強化を図った。 ■ 「学生が輝く“まち”再生プロジェクト」や、「飛び込む・関わる・創る守谷学生シェアハウス事業」を通じて、本市への新たな「地縁」と「きっかけ」づくりとして、つくば市など近隣の大学等に入学・在学する大学生等への転入促進策を実施した。 ■ 中古住宅のリフォーム・リノベーションに対する経済的支援を拡充し、転入者等に対する経済的支援の充実を図った。  【評価】 ■ 上記のような取組の結果、計画期間中の各KPIは、目標に対し順調もしくは概ね順調に推移した。	■ 実績は、順調、概ね順調で推移しているが、未達項目もあることから、各KPIの目標値は総合戦略期間変更後も据え置く方針で検討する。  ■ 本市の強みを内外に発信し、本市のイメージを高める戦略的なシティプロモーションの強化、戦略的な経済的支援策の展開を通じて本市を“住まう”場として選択する際の「きっかけ」の提供をさらに進める。
	18・19歳の転入者数	49人	60人	58人	123人	A		市民提案型事業「市民が選ぶ守谷の魅力ベスト10」  ラッピングトラック  DHCと包括連携協定  全国シティプロモーションサミット  シティプロモーション業務委託  秋葉原駅フルカラーLEDビジョンの利用  守谷イメージ画プロジェクト  守谷市ガイドマップ作成  イバラキセンスにて守谷市PR  (仮称)守谷ふるさと大使制度の創設		
							大学生の転入促進	学生が輝く“まち”再生プロジェクト  飛び込む・関わる・創る守谷学生シェアハウス事業		
							転入者等に対する経済的支援の充実	住宅リフォーム資金補助金交付事業		

戦略分野・展開施策	◎成果指標・KPI指標	当初値	H31年度 目標値	H30年度 期待値	H30年度 実績値	総合評価 (H30年度)	取り組み	具体的な事業	主な取組状況と評価	今後の取組の方向性
<b>戦略分野③</b> 『安定した生活を支える就労環境を創る』	◎市内で従業する就業者数	22,256	23,000 (R2年値)	22,851	23,661 (H27年値)	A	—	—	—	—
展開施策① 魅力・個性ある新しい就労機会を創る	創業比率	3.64%	4.0%	3.93%	6.58%	A	創業の場の確保支援 総合的な創業支援の体制づくり	取組なし 先端設備等導入計画 創業支援事業計画 (ワンストップ窓口)	【主な取組状況】 ■ 国等の各種創業支援メニューを積極的に活用しながら、商工会や金融機関、大学等との連携など、総合的な創業支援の展開に向けた計画・体制づくりを進めた。 ■ 「農が繋ぐまち地域資源連携推進事業」を通じて、新たな農業就労者を育てるための環境整備、先進的農法の実証や農家への情報発信、連携を図ることで、農業経営の高度化支援を実施した。 ■ 「守谷生まれの食品推進事業」や「農が繋ぐまち地域資源連携推進事業」を通じて、地産地消を推進し、本市農産物等の商品化やブランド化への取組支援を行うなど、農業の高付加価値化への支援を実施した。  【評価】 ■ 上記のような取組の結果、計画期間中の各KPIは、目標に対し順調に推移した。	■ 現在の取組の水準を維持するため、各KPIの目標値は総合戦略改訂後も据え置く方針で検討する。  ■ 起業家の育成や創業時の金融支援など、総合的な創業支援メニューの提供、創業にチャレンジしやすい環境を創出するほか、農業経営支援や地産品の商品化・ブランド化、6次産業化の促進等による農業及び関連産業における雇用力の増大を目指す。
	耕作放棄地面積	44.6ha	40.0ha	40.9ha	40.8ha	A	農業経営の高度化支援	農が繋ぐまち地域資源連携推進事業		
							農業の高付加価値化への支援	守谷生まれの食品推進事業 農が繋ぐまち地域資源連携推進事業		
展開施策② 様々な生活様態を支える多様な就労機会を創る	商業の年間商品販売額	98,156	107,971	102,082	136,750 (H28年値)	A	地消型購買行動の仕掛けづくり	プレミアム商品券事業	【主な取組状況】 ■ プレミアム商品券事業を実施し、市民の市内消費を促進する取組を進めた。 ■ 「女性のための社会復帰セミナー」の開催を通じて、求人・求職のマッチングを支援した。 ■ 協働のまちづくり担い手育成事業や地域福祉活動への助成、守谷市シルバー人材センターへの助成等により、コミュニティビジネスの創出を促進・支援した。 ■ 職場における男女格差や職場内慣行の是正のための情報提供等を通じ、事業所における男女共同参画に対する理解と取組の促進に努めた。また、市民や事業者等へ育児休業制度の普及・啓発を進める一環として、市役所でも率先した取組を進めた。  【評価】 ■ 上記のような取組の結果、計画期間中の各KPIは、目標に対し順調もしくは概ね順調に推移した。	■ 実績は、順調、概ね順調で推移しているが、未達項目もあることから、各KPIの目標値は総合戦略期間変更後も据え置く方針で検討する。  ■ 目標達成に向け、身近な就労の場としての商業施設等の維持・支援や、市内事業者との連携・協力による多様かつ柔軟な働き方を実現できる職場環境づくりの促進を継続する。
	シルバー人材センター登録者の就業率	83.7%	90.0%	88.7%	75.7%	B+	求人・求職マッチングの支援	女性のための社会復帰支援セミナー		
							コミュニティビジネスの創出	協働のまちづくり担い手育成事業 地域福祉活動助成金 軽度生活援助事業 高齢者就業機会確保事業		
							男女共同参画やワーク・ライフ・バランスへの理解促進【再掲】	女性のための社会復帰支援セミナー パートナーシップフォーラム 市役所での取組		
展開施策③ 雇用の源泉となる「カネ」・「ヒト」を創る	観光入込客数	97,200人	105,000人	103,440人	103,800人	A	観光振興組織の拡充	守谷市観光協会補助事業 PRIによる間接的支援	【主な取組状況】 ■ 目標達成に向け、守谷市観光協会への継続的な支援を行うとともに、PRIによる間接的支援も実施し、「野鳥の森散策路」や「鳥のみち」の新たな魅力の創出を進めた。 ■ 「守谷市商工まつり～きらめき守谷夢彩都フェスタ～」や「MOCOフェスタ」など、商工団体・市民団体等が主催する各種イベントについて、継続的な実施にかかる支援を行った。 ■ 児童生徒の体験学習やキャリア教育の内容充実などの検討を行った。  【評価】 ■ 上記のような取組の結果、計画期間中の各KPIは、目標に対し順調もしくは概ね順調に推移した。	■ 実績は、順調、概ね順調で推移しているが、未達項目もあることから、各KPIの目標値は総合戦略期間変更後も据え置く方針で検討する。  ■ 目標達成に向け、見学施設を有する事業所との連携強化や、地域企業・市民団体等と連携したイベントの活性化、近隣自治体等を含めた広域的な視点での交流活性化等、地域企業等との連携強化をさらに進める。
	「将来の夢や目標を持っている」中学生の割合	73.4%	78%	77.1%	74.0%	B+	各種イベントの開催支援	きらめき守谷夢彩都フェスタ支援事業 MOCOフェスタ支援事業		
							キャリア教育等の拡充	キャリア教育等の充実		

戦略分野・展開施策	◎成果指標・KPI指標	当初値	H31年度 目標値	H30年度 期待値	H30年度 実績値	総合評価 (H30年度)	取り組み	具体的な事業	主な取組状況と評価	今後の取組の方向性
戦略分野④ 『将来にわたって持続可能な新しい「まち」を創る』	◎市民活動を行っている団体数	95	102	101	86	B+	-	-	-	-
	◎生きがいを持っている高齢者の割合	63%	65%	65%	60%	B+				
展開施策① 持続性のある共助の仕組みを創る	コミュニティビジネスを展開するNPO法人等の団体数	3団体	5団体	5団体	4団体	B+	コミュニティビジネスの創出【再掲】	協働のまちづくり担い手育成事業 地域福祉活動助成金 軽度生活援助事業 高齢者就業機会確保事業	【主な取組状況】 ■ 目標達成に向け、協働のまちづくり担い手育成事業や地域福祉活動への助成、守谷市シルバー人材センターへの助成等により、コミュニティビジネスの創出を促進・支援した。 ■ 自治会を中心としたコミュニティ活動の活性化を促進するため、公用車や資機材の貸出を実施した。 ■ 地域福祉活動計画実行委員会への助成により、地域福祉計画を推進するとともに、介護支援ボランティアポイント制度の導入による介護予防・生きがいづくりを推進した。 【評価】 ■ 上記のような取組の結果、計画期間中の各KPIは、目標に対し、概ね順調に推移した。	■ 実績は概ね順調で推移しているが、未達であることから、各KPIの目標値は総合戦略期間変更後も据え置く方針で検討する。 ■ 目標達成に向け、NPO法人等による新たなコミュニティビジネスの創出や活性化の支援、各コミュニティへの活動支援を継続する。
	自治会活動や地域のコミュニティ活動に参加している市民の割合	46%	50%	49%	41%	B+	コミュニティ活動支援事業	資機材等貸出事業 公用車貸出事業		
							地域福祉計画の推進	地域福祉活動助成金 介護支援ボランティアポイント制度		
展開施策② 増加する高齢者の生きがい・活躍の場を創る	シルバー人材センター登録者の就業率【再掲】	83.7%	90.0%	88.7%	75.7%	B+	シルバー人材センター等との連携強化	軽度生活援助事業 高齢者就業機会確保事業	【主な取組状況】 ■ 目標達成に向け、高齢者が知識・経験を活用しながら、望む働き方に応じた活動ができるようシルバー人材センターの事業運営を支援した。 ■ NPO団体と市との協働により、健幸日記を発行したほか、（健康）スポーツフェスティバルの実施により、健康づくりのきっかけを提供した。 ■ 地域公共交通網形成計画を策定するとともに、本市の公共交通ネットワークの再構築を実施した。なお、令和元年度より新たにデマンド乗合交通を開始し、モコバスのルート再編及び1年間の実証実験を行っている。 ■ 市内の空き家等の活用により、地域住民の「集いの場」の充実を支援したほか、地域福祉活動への助成、サロン活動への支援を実施した。 【評価】 ■ 上記のような取組の結果、計画期間中の各KPIは、目標に対し概ね順調に推移した。	■ 実績は、概ね順調で推移しているが、未達であることから、各KPIの目標値は総合戦略期間変更後も据え置く方針で検討する。 ■ シルバー人材センター等との連携による元気な高齢者のニーズに応じた働く場の創出・確保、健康づくり事業の展開、公共交通の拡充等やサロン等の充実による高齢者の外出のきっかけの提供を継続する。
	心身ともに健康だと感じている市民の割合	78%	80%	80%	74%	B+	健康づくりのきっかけの提供	市民提案型協働事業 スポーツフェスティバル		
	公共交通に対する市民の満足度【再掲】	49%	55%	54%	48%	B+	公共交通ネットワークの再構築【再掲】	守谷市地域公共交通網形成計画の策定 公共交通網の再編 公共交通強化による地方移住促進事業		
							「集いの場」の提供	空き家等活用コミュニティ推進事業 地域福祉活動助成金 サロン活動支援事業		
展開施策③ 無駄のない効率的なまちを創る	空き家率	9.8%	9% (H30年値)	9.0%	9.0%	A	創業の場の確保支援【再掲】	取組なし	【主な取組状況】 ■ 目標達成に向け、市内の空き家等の活用により、地域住民の「集いの場」の充実を支援したほか、地域福祉活動への助成、サロン活動への支援を実施した。 ■ 空き家バンク制度の創設により、中古住宅情報の発信やマッチングなど、中古住宅の流通促進を支援し、既存住宅ストックの有効活用を進めた。 ■ 区画整理地内の調整池への太陽光発電設備の設置など、貴重な土地資源の有効活用を進めた。 ■ 市単独での取組が困難なもの、あるいは周辺の関係市町村と連携して一体となった取組展開が効果的なものなどについて、積極的に広域連携での取組を展開した。 【評価】 ■ 上記のような取組の結果、計画期間中の各KPIは、目標に対し順調もしくは概ね順調に推移した。	■ 実績は、順調もしくは概ね順調で推移しているが、未達項目もあることから、各KPIの目標値は総合戦略改訂後も据え置く方針で検討する。 ■ 市内の空き家・空き店舗の活用、中古住宅市場の活性化の促進、市内に点在する調整池等の有効活用を進めるとともに、広域での取組による効率的な住民サービスの提供について検討する。
	「集いの場」の提供【再掲】							空き家等活用コミュニティ推進事業		
	広域連携による事業実施件数（会議等を除く）	9件	10件	10件	9件	B+		地域福祉活動助成金 サロン活動支援事業		
							中古住宅流通促進	空き家バンク制度		
							調整池等の有効活用	太陽光発電設備設置による有効活用		
							広域連携の推進	広域連携の推進		